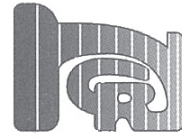


# フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



## 開院60周年によせて：耳順

中部ろうさい病院 院長 加藤 文彦

さて、当院は1955年3月22日に開院いたしましたので、本年度満60周年を迎えました。人間ですと、60歳「還暦」になったこととなります。60歳といえますと、十干十二支が生年に戻ったことから「還暦」という言葉がよく使われますが、「耳順（じじゅん）」という表現もあるのですが、ご存じでしょうか？

これは「論語」の中の最も有名な文章「子曰、吾十有五而志于学、三十而立。四十而不惑、五十而知天命。六十而耳順、七十而随心所欲不踰矩。」から来ています。この文章の中では「四十にして惑わず」が最も有名で、40歳を迎えたことを「不惑の歳になった」と表現することは皆さんご存じのことと思います。「不惑（ふわく）」とは「心に惑いがなくなった」ということです。40歳でこの境地に達する人はなかなか居ないのではないかと60歳を超えても惑っている凡人に過ぎない私は考えてしまいますが、皆さんは自身を省みていかがでしょうか？

六十にして「耳順い（みみしたがい）」とは、「何を聞いても素直に受け入れることができるようになった」、すなわち「助言にしろ諫言にしろ、相手の言葉をそのまま聞くことができるようになった」ということです。人間は他人の意見に対して、何かと自分の意見や意思をぶつけたがるものです。自分の意見を持つことはもちろん重要ですが、それは時として相手の意見を言葉のままに理解することへの障害となったり、誤解を招くものです。

これも「耳順」の境地に達するのは大変かと考えますが、「耳順」に向かって努力することはできそうな気がします。つまり、「良きにつけ悪しきにつけ、相手の言葉をそのまま聞くことができるように努める」ということです。当院も満60歳を迎えましたので、地域の皆さんや医療機関の方々との「耳順」すなわち、より良いコミュニケーションを目指して努力致しますので、皆さん方も当院との「耳順」を心掛けて戴ければ幸いです。

### 今月号のお知らせ

- ①開院60周年によせて：耳順  
……………中部ろうさい病院 院長 加藤 文彦
- ②広報委員長再任のご挨拶  
心療内科部長・勤労者メンタルヘルスセンター長  
治療就労両立支援センター両立支援部長 芦原 睦
- ③こんにちは。NST(栄養サポートチーム)です。

- ……………NST専従管理栄養士 関口 まゆみ
- ④がん化学療法看護認定看護師の仕事  
……がん化学療法看護認定看護師 柴原 真由子
- ⑤第8回市民健康セミナーを受講して  
……………中央リハビリテーション部長 林 宏樹
- ⑥研修センター通信 ⑥院内行事のご案内
- ⑥編集後記 ⑥当院の理念・当院の基本方針